

## 不動産業でも、CGM支援が2006年のキーワードか？

今号で特集したWeb2.0時代におけるインターネット・Web活用の中核的な方向は、個人（あるいは企業）による情報の編集と自己発信であるといえるでしょう。ツールはBlogやSNSということになるだろう。

しかし、情報の公開（新聞社や放送局による記事のRSS発信など）が進んでいるとはいえ、他人のブログなども含めてWeb上のそうした公開情報や写真を使って自分のブログやmixiの記事を編集するとなると、出典を明記したり参照Blogにリンクを貼らせて頂くにしても何か後ろめたいものがありました。

そうした中で、1月にイギリスのBBCが過去記事の写真やアーカイブの無料利用許可を宣言。こうした動きは私がチェックし切れていないだけで、他にもあるのでしょうか、2月に入るとソフトバンクもブログへの正規引用承認サイトを開設するアナウンスを行っている。

Web上で自分のデータや公開情報などを使って自己発信 という一連の作業を行うことをCGM（Consumer-Generated Media / 消費者作成メディア）と呼ぶらしいのですが、BBCなどがCGM支援を開始したことで、Web2.0時代におけるBlogやSNSはずい分と楽しいものになってくるのではないのでしょうか。

たとえば、シャラポワの熱烈なファンであった場合、BBCのもの凄く迫力のある写真を使って“追っかけBlog”を次から次に公開して行けるのですから……。

また、不動産業界に関連したニュースいち早く伝えることを1つの目的にしている私のBlogの場合、MSN / ビル・ゲイツのニュースを伝える場合に、写真を載せる時は、日経新聞が掲載したものをケイタイ撮影（これとて盗撮であろう）した“素材”を作っておいて使用してきたのですが、これからは新聞社や放送局の使用許可写真をダウンロードして使えるとなれば、後ろめたさがなくなるし、記事引用の幅が広がってきますよね。

この記事では、CGMという概念を知っておいて頂きたいと思って易しい解説を書いているところなのですが、CGMという概念は相当に新しいもののようで、調べものをする時によく使う『IT用語辞典』にはまだ解説がない。そこで、他人のブログから引用させて頂くと……。

「CGMとは、ブログやBBS、メルマガ、メーリングリスト、SNSなどを通じて消費者が自ら情報を発信するメディアのことを指します」。（WEBSTAFFBLOG / WEBキーワード）

「イギリスBBCが保有する50年分の象徴的なニュース映像アーカイブを、自由にダウンロードして編集することができるようになった。著作権とかも考えると勝手に映像や画像も使えないし、まして自分で撮れる写真やイラストにも限りがあるだろう。そんなとき、自由に編集できる映像アーカイブはとても魅力的だ。今回のこれは素材をCGM向けに提供するサービスだけれど、今後CGMが増える一方なことを考えるとこれら向けのサービスがさらに増えそうな予感」。（CGM支援が2006年のキーワードか？）

ということになるのですが、あなたもCGMを使って新しい型のブロガーになってみませんか。この発想は、不動産ブログや営業促進にも使えますよ！